

町内を美しく清潔に

栗田町内会は、春秋の大掃除やゴミ0（ゼロ）運動、各公園の清掃・草取り、公衆トイレ清掃、花を守る会の活動などさまざまな環境美化の活動をしています。また、芹田公民館など関係する団体の活動にも積極的に参画しています。

今回はこれらのうち二つの取り組みについて紹介します。

駅南幹線の美化活動 今年度も8回予定

「きれいな歩道を歩くのはとても気持ちいいです」。七瀬の自宅から栗田駅南幹線をよくウォーキングするという女性が話してくれました。

6月26日朝6時から7時まで、「栗田駅南幹線愛護会」のメンバー21人が同幹線の草取りを実施しました



写真。育成会の協力も受け、4月から10月まで計8回の活動を予定しています。昨年度は延べ144人がこの取り組みに参加しています。

冒頭の女性は「きょう、初めて地元の皆さんが歩道を手入れしているのに出合いました。定期的な活動なのですね」と納得していました。

「駅南幹線愛護会」 メンバーを募集中

駅南幹線愛護会は、栗田町内会環境美化推進委員会が計画・実施しています。同愛護会で、草取りボランティアに参加希望の方は同会・今泉会長（226-4511）までお声がけください。

住民が 計濁川を清掃

水辺に
ホタルが生息



5月8日、芹田公民館が例年行う計濁川（けかちがわ）の清掃に栗田町内の住民もボランティアとして参加、川中のゴミ拾いや草刈りを行いました。写真。

一部が栗田町内の南端を流れる同川は、善光寺平用水の一つで、県立図書館東側の流域はホタルの生息地でもあるため、用水としての機能維持とホタルの生育環境に配慮しての作業になりました。

ホタルの幼虫が成虫になる6月には、ホタルの鑑賞会も行いました。



栗田の風景②

善光寺平用水（下）

住民生活にも潤い

1600年代初頭の南流化工事より後年、裾花川の河床が下がり、鐘鑄（かない）川など裾花川支流に水が流れなくなる事態が発生しました。そのため川中島藩城代の花井吉成は、新たな用水取入れ口を造るともに導水路としての鐘鑄堰や八幡・山王堰などを整備しました。これが現在の善光寺平用水のルートです。

王堰を中心に、地域の関係用水組合が連合し長野県善光寺平耕地整理組合が設立しました。その後1951（同26）年、土地改良区に組織変更、1962（同37）年四ヶ郷土地改良区と合併し現在に至っています。

しかし、裾花川そのものが出水すれば氾濫する一方、降雨が少ないと水枯れ状態となり、たびたび水争いが起きました。こうした経過を経て1928（昭和3）年、組合ごとの取水ではなく合口（こうぐち）取水とするとともに、水不足を解消すべく犀川からの取水と併せて1930（同5）年には金鑄堰、八幡堰、山

現在、栗田町内（付近）には南俣堰、古川、前堰、呑川、計濁（けかち）川が流れています。これらは農業の礎であるだけでなく、長野市街地に水辺空間をつくり、住民生活に潤いを与えています。2006（平成18）年には農水省により「疎水百選」に選定されました。



J R長野駅東口の栗田緑地帯内にある用水施設